

西条市では、平成26年度に人権問題に関する市民意識調査を実施しました。

「サッカーJリーグでの日本人以外お断り横断幕や遍路道における差別落書き、ヘイトスピーチ（増悪表現）など、外国人に対する差別的な行為についてあなたはどのように思いますか」の問いに対して「許せないことである・あつてはならないことである」と答えた人は約8割でした。外国人に対する差別を許さない市民の意識の高さがうかがえるその一方で「何も思わない」「表現の自由なので問題ない」と問題意識を感じていない残念な回答も約1割ありました。

一昨年、京都朝鮮第一初級学校の授業妨害をしたとして、ヘイトスピーチをしたある団体に対し、大阪高裁は1200万円の支払いを命じました。ヘイトスピーチは「表現の自由」などではなく、明らかに差別行為なのです。インターネットの世界でも個人を攻撃する誹謗中傷や差別的な書き込みが多発し、読むに堪えない醜い文章が飛び交っています。人間を分断し、弱者を排除する空気が社会に

まん延したとき、子どもたちは未来に夢や希望を描き、笑顔で生きていくことができるのでしょうか。

ヘイトデモの中には、既に中・高校生が参加しているケースも少なくありません。大切なわが子、家族や友人が人種・国籍・性的指向・性別・脅迫、侮辱を口にし、罪もない人や子ども、高齢者を罵倒している姿や、されている姿を想像してみてください。

ヘイトスピーチに限らず、身近なところに人間の尊厳を否定する差別的な言動はないでしょうか。親と子。先生と児童・生徒。上司と部下。友だちや同僚。介護者と要介護者などの間に…。ヘイトデモや横断幕を掲げることだけが差別行為ではないのです。

「もしも」と自分のことに置きかえ、省みる感覚と行動こそが、差別行為への抑止力となります。「命」は平等であり同格です。国籍や肌の色、地位、年齢、性別は一切関係ないのです。相手の「命」を本当に尊敬し、大切にしたい日常でありたいものです。

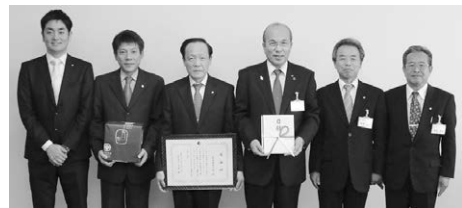
西条図書館に 図書が寄贈されました

3月14日に公益社団法人伊予西条法人会から、昨年引き続き図書が寄贈されました。
寄贈された図書は西条図書館の蔵書として、利用者におはなし会などで活用させていただきます。



収益金を寄付いただきました

3月11日に花王株式会社から、昨年12月6日に開催された「花王ファミリーコンサート in 西条 錦織健 テノールリサイタル」の収益金が寄付され、市内中学校の音楽機材などの購入に活用させていただきました。
花王株式会社からは、平成21年度からこれまでに4度、音楽活動に支援をいただいています。



ありがとうございました

次の方々からまごころ銀行にご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

- 問合せ 社会福祉協議会 TEL0898-64-2600
- 個人
 - 故 藤岡民子(北条) ○首藤一志(円海寺)
- 各種団体
 - 飯岡小学校 ○ついたちさわやか会
 - 西条歌謡同好会
 - 布絵グループ
 - 庄内公民館
 - カラオケ喫茶 椿 首藤尚子



農業に関する副読本が 寄贈されました

3月23日にJA周桑とJA西条から、副読本「農業とわたしたちの暮らし」が寄贈されました。
副読本は小学5年生を対象に、社会科や総合的な学習の時間、食育の指導などで活用させていただきます。

